

ハリキンジャッキ 取扱説明書

資料番号:ET001-06

HJN-750、HJN-1100、HJN-1110 共通

EIKO
栄光マシンセンター株式会社



- ・ このたびは、当社の製品をご採用いただき誠にありがとうございます。
- ・ ご使用いただく前に取扱説明書を熟読し、正しくご使用下さい。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管して下さい。

注 意 事 項

- ・ 取扱説明書に掲載している図および写真は、代表事例であり、お届けした製品と異なる場合があります。
- ・ 取扱説明書は、製品の改良や仕様の変更、及び取扱説明書自身の使いやすさの向上のために適宜変更することがあります。
- ・ この変更は、取扱説明書の資料番号を更新し、改訂版として発行します。
- ・ 損傷や紛失などにより、取扱説明書を注文される場合は、当社代理店または当社担当に表紙の資料番号を連絡してください。

目次

安全上の注意	2
1.現品の確認	3
2.組立方法	3
3.使用方法	4
3-1.操作方法	4
3-2.配置方法	4
3-3.使用方法	5
3-4.使用後のお手入れ、保管方法	5
4.日常点検	5
5.商品の特徴	6
6.仕様	6
7.MEMO	7

安全上の注意

この取扱説明書では注意事項を「危険」「注意」として区分しています。



危険

取り扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合



注意

取り扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合

なお、「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。



危険

- ・ 本製品は鉄筋用梁の上げ下げの使用目的で設計されています。その他の用途に使用しないで下さい。
- ・ **定格以上の荷重を絶対に加えないで下さい。**
(HJN-750・HJN-1100 500kg) (HJN-1110 1000kg)
〔 梁の重量を事前に計算し、定格以上の荷重が加わらないようハリキンジャッキの必要台数を算出して使用してください。弊社ハリキンスタンドと併用する場合においてもハリキンジャッキの必要台数を減らすことは出来ません。必ず算出した必要台数で使用してください。 〕
- ・ 梁を下ろす際、梁全体を同時に下ろすようにしてください。一部分のみの下ろすと隣接するハリキンジャッキに偏荷重が加わり大変危険です。
- ・ ジャッキ部分の**ブレーキパンには絶対に油を差さないで下さい。**ブレーキが効かなくなります。
- ・ **製品及び部品の改造は絶対にしないで下さい。**
- ・ チェーンにショック的圧力がかかる使い方はしないで下さい。
- ・ チェーンがねじれたり、キンクしたままで使用しないで下さい。
- ・ チェーンが何かに擦れるような使い方はしないで下さい。
- ・ チェーンを巻きつける等、チェーンで直接荷をつらないで下さい。
- ・ 吊荷の下に人が入らないようにして下さい。
- ・ 吊上げる際にチェーンが垂直になるようにハリキンジャッキの設置位置を調節して下さい。
- ・ 吊上げる際にバランスが悪く倒れそうな場合は直ちに吊上げを中止して下さい。
- ・ 梁を吊った状態での長時間放置はしないで下さい。
- ・ チェーンが外れている場合、正しく動作しない場合は直ちに使用を中止して下さい。
- ・ 指定外のピンを使用しないで下さい。



注意

- ・ 使用前には必ず日常点検を実施してください。
- ・ 設置状態でのフレーム本体の水平を確認して下さい。
- ・ フレーム全体が型枠にかかるように使用して下さい。
- ・ 巻き下げ過ぎ、巻き上げ過ぎをしないで下さい。
- ・ 使用の際は周りの人に注意してください。
- ・ 運搬・組立の際、落下させたり、ぶつけたりしないで下さい。故障の原因となります。

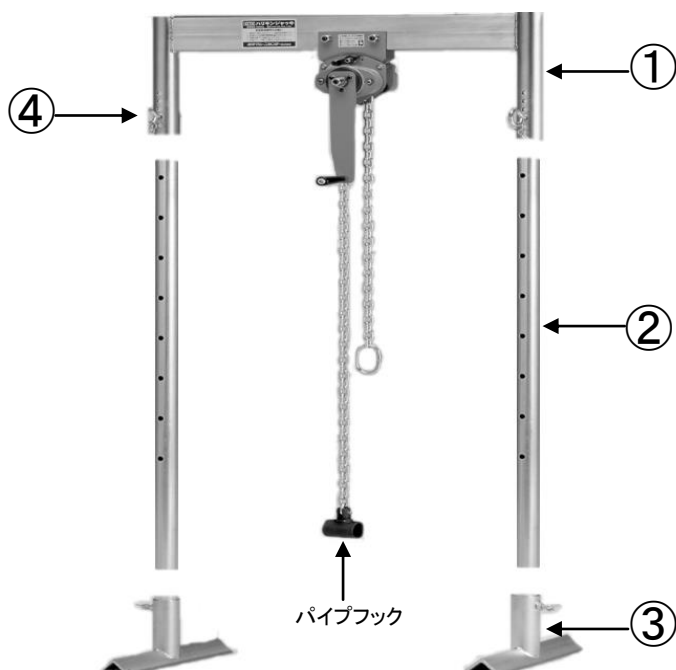
1. 現品の確認

ご注文どおりの製品が届きましたか？輸送中の事故で破損していないかお調べ下さい。万一不都合の点がありましたら、ご注文先にご照会下さい。

なお、製品の内容は以下の通りです。(2台入りの場合は下記の×2の部品が入っています)
(各製品共通)

名 称	個数
①ジャッキ付フレーム	1 台
②パイプ	2 本
③スタンド	2 台
④ピン	2 本

2. 組立方法



1. スタンド③を水平な所に置きます。
2. パイプ②をスタンド③に差込み、蝶ネジで固定します。
3. ジャッキ付フレーム①をパイプ②に差込み、任意の高さ(位置)に調整し、ピン④で固定します。

3. 使用方法

3-1 操作方法

巻上げ操作・・・ハンドルを右回転させて下さい。

(HJN-1110 はキリカエビンの位置を UP にしてください。)

巻下げ操作・・・ハンドルを左回転させて下さい。

(HJN-1110 はキリカエビンの位置を DOWN にしてください。)

遊転操作・・・6 頁参照(商品の特徴「上下早戻しワンタッチ機構」)

3-2 配置方法

現場の状況、梁の重量を元に、以下の内容に注意して配置してください。

製品 1 台あたりに加わる荷重が定格荷重(HJN-750・HJN-1100=500kg、HJN-1110=1000kg)を絶対に超えないようにしてください。定格荷重を超えて使用すると重大な事故につながり大変危険です。そのために、梁重量を事前に図面にて確認し、その梁の重量に見合った台数のハリキンジャッキを使用してください。(下に梁形状における梁の単位重量の一例、異形棒鋼の単位重量を示しますのて参考にしてください。)

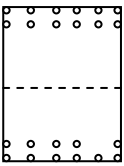
配置間隔は1スパンあたりの重量を製品の定格荷重で割ることで、必要な台数を算出してください。

そして、1 スパンに必要な台数を均等配置して使用してください。

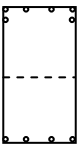
尚、1スパンあたりの必要台数が1台で十分となった場合でも、吊上げた状態で梁がたわむようであれば、たわまないよう複数台のハリキンジャッキを使用するようにしてください。

→梁1スパン約 8m の場合、4 台での使用を推奨します。

(参考)ハリ形状によるおおよその重量を示しますので、参考にしてください。

① 断面	
B×D	650×850
上端筋	12-D35
下端筋	11-D35
腹筋	2-D10
S・T・P	D13 @100

約 210kg/m

② 断面	
B×D	400×750
上端筋	6-D25
下端筋	4-D25
腹筋	2-D10
S・T・P	D13 @200

約 55kg/m

③ 断面	
B×D	350×700
上端筋	5-D22
下端筋	3-D22
腹筋	2-D10
S・T・P	D10 @150

約 30kg/m

異形棒鋼単位重量 [kg/m]

D10=0.56	D29=5.04
D13=0.995	D32=6.23
D16=1.56	D35=7.51
D19=2.25	D38=8.95
D22=3.04	D41=10.5
D25=3.98	D51=15.9

3-3 使用方法

・梁の吊り方

パイプフックにかんざし筋を差込み梁の上筋に引っ掛けて使用してください。

〔パイプフック内径 HJN-750,HJN-1100 ,HJN-1110 φ38 〕

・梁の下げ(上げ)方

梁を下ろす(上げる)際は梁全体の水平を保つように同時に下ろし(上げ)てください。

1 ヶ所のみ極端に下ろす(上げる)と、梁がたわみ隣接するハリキンジャッキに偏荷重が加わり、倒れや過荷重の原因となり重大な事故につながる恐れがありますので、絶対にしないでください。

3-4 使用後のお手入れ、保管方法

- ・汚れや水気をよく拭き取り、チェーンの回転部分に油を塗ってください。

このときブレーキ板には絶対に塗らないで下さい。ブレーキが効かなくなります。

- ・乾燥した粉塵の少ない場所に保管してください。

4. 日常点検

ハリキンジャッキを安全に使用していただく為、使用の前に必ず下記項目を点検してください。

判定基準を満たしていない製品の使用は絶対にしないでください。

項目	点検内容	判定基準	処置
巻上げ	巻上げ操作をする。	カチカチと音が鳴り、チェーンがスムーズに動くこと。	分解して点検する。
巻下げ	巻下げ操作をする。	無音でチェーンがスムーズに動くこと。	分解して点検する。
遊転機能	遊転操作をする。	ピンバネがスムーズに動くこと。 ハンドルの押し引きがスムーズに動くこと。 チェーンがスムーズに動くこと。	分解して点検する。
チェーン	目視	錆のないこと。 摩耗・変形・キズのないこと。	錆を落とし油を塗る チェーンを交換する。
パイプフック	目視	変形・キズのないこと。	パイプフックを交換する。
銘板	目視	貼り付けてあること。	貼り付ける。
各部のボルトナット等	目視	緩み、脱落のないこと。	締め付ける。 部品を取り付ける。
その他	目視	パイプ、フレーム、スタンド、ジャッキ部に変形・へこみ等の有害な欠陥のないこと。	部品を交換する。

※この日常点検とは別に、(定期・年次)点検表を別途準備しておりますので、必要の際は弊社までお問い合わせください。

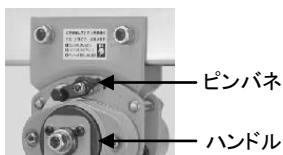
5. 商品の特徴

● 上下早戻しワンタッチ機構(HJN-750、1100、1110)

ピンバネを押しながらハンドルをひくことにより、フリー状態となります。

この際、チェーンはどちらでも自由に動きます。

ピンバネを動かしハンドルを戻してやることによって元の状態に戻ります。



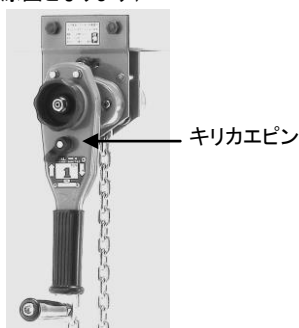
注意
操作後、ピンバネが確実に元に戻っている
ことを確認してください。

● レバー&ハンドル (HJN-1110のみ)

ハンドルの回しやすさとレバーの力強さを兼ね備えております。

ただし、**750kg 以上ある場合はレバー**を使用して下さい。

(ハンドルの故障の原因となります)



● その他特徴

1. 楽な姿勢で確実な配筋と結束ができます。
2. 組立・解体・高さ・段差の調整がワンタッチ。
3. 軽量になり、持ち運びが便利。
4. 現場合わせの架台作りが不要。
5. 上筋・下筋を任意の位置へ預けるのに最適。
6. スピーディーに作業ができ仕上がりが良い。
7. 随所にメッキ処理、防錆にすぐれています。

6. 仕様

型 式	高 さ	横 幅	有 効 寸	吊 上 能 力	重 量
HJN-750(手動式)	1500 mm	750 mm	620 mm	500kg	18kg
HJN-1100(手動式)	〃	1100 mm	950 mm	〃	22kg
HJN-1110(手動式)	〃	〃	950 mm	1000kg	30kg

この取扱説明書についてのお問い合わせは、当社またはお近くの代理店にご相談ください。

7. MEMO

EIKO EIKO MACHINECENTER CO.,LTD.

鉄筋機械工具総合商社

栄光マシンセンター株式会社

〒452-0841 名古屋市西区域西町 200 番地
TEL(052)502-3255(代) FAX(052)502-3133